

都立つばさ総合 高等学校 令和7年度（2・3学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合B

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合B 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2・3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書：（『新選歴史総合』東京書籍）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、日本の地理や歴史を学ぶことの意味や、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、特に世界のなかの日本という視座から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史に関する基礎的な知識を身につけ、近現代世界の歴史的推移について適切に理解することができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、特に世界のなかの日本という視座から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史に関する基礎的な知識を身につけ、近現代世界の歴史的推移について適切に理解することができる。	近現代の歴史を現代社会における諸課題の背景として捉え、より良い社会の実現のために主体的、継続的に学習に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第1章 歴史の扉 第2章 近代化と私たち 【知識及び技能】 Western Impactに直面したアジア諸地域について、政治、経済、社会など様々な観点からその変容について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 19世紀を通じて生じた世界諸地域の変容について、諸資料を活用して考察し、その意義やのちの時代に与えた影響について自身の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の経済格差や環境問題への影響など、現代社会とのつながりという視点から19世紀をとらえ、主体的に学習に取り組むことができる。	・指導事項 第1章第1節 歴史と私たち 第2章第1節 近代化への問い 第2節 結びつく世界と日本の開国 ①18世紀の東アジア ②結びつくアジア諸地域 ③18世紀のヨーロッパとアジア ④産業革命のはじまり ⑤世界市場の形成 ⑥東アジア国際関係の変化と日本の開国 ⑦世界経済の変化と日本の産業革命 第3節 国民国家と明治維新 ①市民革命と近代社会 ②自由主義とナショナリズム ③アジアの諸国家とその変容 ④明治維新と東アジアの国際関係 ・教材 等 『新選歴史総合』 『新選歴史総合 ワークノート』	【知識及び技能】 19世紀の世界を理解するのに必要十分な知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を活用して、19世紀の世界を多面的・多角的に考察し、とくにアジア諸地域の変容について後世への影響をふまえて自身の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、講義やグループワークなどを通じて歴史的思考力を養おうとしている。	○	○	○	27
	定期考査			○	○	○	1
	第2章 近代化と私たち 【知識及び技能】 欧米諸国が帝国主義政策を推進するにいたる政治的、経済的背景を理解し、また、帝国主義政策に直面したアジアやアフリカなどの諸地域の動きについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義が起こった原因や、帝国主義国による世界分割の進行と世界秩序の変容について、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国が推進した帝国主義政策の射程が現代まで伸ばせるものであることをふまえ、主体的に学習に取り組むことができる。	・指導事項 第2章第3節 国民国家と明治維新 ⑤立憲制の広まり ⑥帝国主義と植民地 ⑦日清戦争と華夷秩序の解体 ⑧帝国主義諸国の強豪と国際関係 ⑨植民地支配と植民地の近代 ⑩20世紀はじめの世界 第4節 近代化と現代的な諸課題 ・教材 等 『新選歴史総合』 『新選歴史総合 ワークノート』	【知識及び技能】 19世紀後半から20世紀初頭の世界を理解するのに必要十分な知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を活用して、帝国主義政策について多面的・多角的に考察し、推進した欧米諸国とその他諸地域の比較などを通じ、世界の変容について自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、講義やグループワークなどを通じて歴史的思考力を養おうとしている。	○	○	○	27
	定期考査			○	○	○	1
	第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 第一次世界大戦が勃発した経緯や、大戦後の社会の様相について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 大戦が社会をどのように変えたのかについて、諸資料を活用して検討し、自らの言葉で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 人類のこれまでに経験したことのない大戦争がなぜ起きてしまったのか、現代の大量消費社会がどのように形成されたのかなどについて主体的に考え、積極的に学習に臨むことができる。	・指導事項 第3章第1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 第2節 第一次世界大戦と大衆社会 ①大衆社会の時代 ②第一次世界大戦の展開 ③国際協調体制の形成 ④ソヴィエト連邦の成立と社会主義 ⑤アメリカ合衆国の台頭と大量消費社会 ⑥アジアの経済成長と移動する人々 ⑦反戦植民地の高揚と国際秩序の変容 ⑧民主主義の拡大と社会変革の動き ⑨マスメディアの発達と日常生活 ・教材 等 『新選歴史総合』 『新選歴史総合 ワークノート』	【知識及び技能】 1学期に学習した内容をふまえ、第一次世界大戦勃発にいたる経緯を理解するのに必要な知識を習得する。 戦間期の世界について、第二次世界大戦を導くものは何かという視点に立って理解するのに必要な知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を活用し、第一次世界大戦や戦間期の世界について、多面的・多角的に考察し、当時の社会について自らの言葉で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、講義やグループワークなどを通じて歴史的思考力を養おうとしている。	○	○	○	27

[illegible]